

組織拡大委員会議事録

1. 日 時 令和4年3月4日（金） 14時30分～15時40分

2. 場 所 春日井商工会議所 1階 小会議室

3. 出席者数	委員長	1名
	副委員長	1名
	委員	4名
	事務局	5名
	合計	11名

4. 議 題

1. 会員増強の取り組み状況について
2. 今後の進め方について
3. その他

3. 議 事

事務局 伊藤 伊月

定刻に至り、開会を宣し奥村委員長に挨拶を求める。

委員長 奥村 久子

挨拶を述べる。

事務局 伊藤 伊月

委員会メンバーの変更があり、JCの柴田様が坪川様に、アクサ生命保険の江藤様が森岡様に変更となったことを案内する。

次に議事進行にあたり、委員会規程により、議長に奥村委員長を指名し、議長就任を要請する。

(委員長 議長に就任)

議 長 奥村 久子

議事に入り、議題1について事務局に説明を求める。

事 務 局 白木 芳洋

資料に基づき、令和3年度1月末時点の会員数および加入・脱会理由について説明する。1月末時点で会員数は4,310社と目標としている4,300社に到達していることを報告。また、加入理由としては、紹介による加入が最多となっている。退会理由では、前まではメリットなしが多かったが、

今年度は廃業が最多となっており、新型コロナの影響が大きいのではないかと考えている。

続いて、今年の加入促進の取り組みについて、DM発送や新しいチラシの作成を行ったことを説明。

DM発送では、今年度3回発送したが、DMによる加入は4件となっており、発送するだけでは、なかなか加入につながっていないため、発送後の対応も検討していく。

また、会費未納が3年になる事業所に対して、職員による納入依頼を行い、強制退会にならないようにアプローチを行ったことを報告する。

議長 奥村 久子

議題1. について、質問・意見を求める。

委員 岡田 克己

資料1の春日井市内の事業所数について、意図的に同じ事業所数にしているか？

事務局 白木 芳洋

各年度が比較しやすいように、平成28年度経済センサス時の市内事業所数でそれぞれの年度の会員数を割って組織率を抽出している。

事務局 白木 芳洋

先ほどの資料で、目標値を4,300社としているが、会費の未納事業所に対して会費請求を行っており、退会する事業所数も増加することが考えられ、年度末時点での4,300社はかなり難しいことから、第19期の終了が令和4年10月末のため、その時点で4,300社にしていきたいと考えている。

委員 青山 博徳

小牧法人会でも3年間会費未納だと退会となるため、支部長が領収書をもって集金に行っていたことを思い出したが、会議所でも例えば商店街の会員さんが未納だったら、その商店街の担当（事業所）が行くような仕組みができるとよいかもしれない。

委員 岡田 克己

小牧法人会でも会費の時期になると退会していく事業所は多い。

委 員 青山 博徳

安城でも法人会数は減少しているが、会議所会員数は増加していると聞いている。

事務局 白木 芳洋

今は、事業復活支援金の事前確認のため、問い合わせや窓口対応が多くなってきており、このことも会員数増加の一因となっていると思う。春日井の場合、非会員や春日井市外の事業所でも事前確認等の対応を行っており、県下でもトップレベルの対応数となっている。

議 長 奥村 久子

続いて、議題2について事務局に説明を求める

事務局 白木 芳洋

資料に沿って、今後の進め方について説明する。先ほど説明をしたが、令和4年10月末までの目標として、会員数4,300社としていきたいと考えている。

また、新たな取り組み案として、新たな広報活動や加入特典事業、会議所利用促進事業、従来からの紹介などを計画している。

委 員 青山 博徳

法人会では、新規で加入すると会費は次年度からとなるため、とりあえず1回加入してみてもと促していた。また、金融機関にお願いして会員への加入促進をお願いしてはどうか。法人会では、支店ごとに競わせることで、信金さんは頑張って会員を連れてきていただいた。ただし、紹介に対してインセンティブ（手数料）は用意していた。

委 員 岡田 克己

新設法人リストを流用する事がいいのかわからないが、使ってもよいのではないか。また、会員をランク付けやポイント制など、会議所への貢献度に応じて、還元できるような仕組みにしてはどうか。

委 員 青山 博徳

イーアス春日井など、多くのテナントが入っていることから、テナントの加入を促してはどうか。

委 員 岡田 克己

加入申込書は会議所HPからダウンロードできるようになっているのか。

事務局 松井 幸太

HP上からのダウンロードはできないため、メールでの問い合わせができるようになっている。

委員長 奥村 久子

会費の免除は、加入を誘いやすいと思うので、ぜひ検討していただきたい。

委員 平澤 章江

女性会では、今年起業女子応援プロジェクトが始まるので、非会員へしっかりと周知していきたいと思う。

委員 宅間 秀順

会議所の会員名簿を業種別に分けて利用できるようにしてほしい。当社では全国各地の事業所情報は、業界団体の名簿を活用している。会議所の会員名簿が活用できるようになれば、ビジネスで活用できるようになると思う。

委員 岡田 克己

新たな会社と取引を始める時に、間に会議所が入るとうまくいくのではないか。

委員 青山 博徳

以前白木次長を通じて市内事業所を紹介してもらったことがあるので、もっと会議所を活用すれば良い。

事務局より、ビジネスマッチング商談会及びビジネス交流会について説明し、議事を終了する

風岡副委員長より閉会の挨拶

時に、15時40分。